

岐阜信金純利益23%増

3月期 コンサルや投信好調

岐阜信用金庫（岐阜市）が14日発表した2022年3月期単体決算は、資金運用による利益や、コンサルティング業務などの手数料収入が増えたことで、純利益は前期比23・4％増の44億4400万円と2期連続の増益となった。

本業の収益力を示す実質業務純益は6・0％増の58億3600万円で3期連続の増益。預け金利息や有価証券利息配当金が伸長して資金利益が前期比1・4％増となったほか、コンサルティング業務や投資信託販売に注力し役務取引等利益は4・8％増。経費圧縮も進め、経常費用を9億5800万円削減した。経常利益は25・6％増の60億1900万円。期末貸出金残高は、法人向け融資に加えて住宅ローンにも注力し1・7％増の1兆4021億円。期末預

金残高は個人、法人ともに増えて2・9％増の2兆5573億円で、過去最高となった。

役員人事を発表

岐阜信用金庫は14日、通常総代会と理事会を開き、吉田賢一事務統括部長が理事事務統括部長に昇任するなどの同日付の役員人事を発表した。

ほかに新役員は、酒井田知紀秘書室長が理事リスク統括部長、吉田賢治成長戦略部長が常任監事に昇任した。

常務理事と理事の委嘱変更では、桂川慎一常務理事市場国際部長が常務理事融資部長、石神靖也常務理事経営企画部長が常務理事人事部長、執行義徳常務理事人事部長が常務理事経営企

県内金融機関2022年3月期決算					
経常収益		経常損益		純損益	
岐阜信用金庫					
(単)	28,841	(0.9)	6,019	(25.6)	4,444
(予)	—		—		—

【注】単位は百万円、%。(単)は単体、(予)は2023年3月期予想。
かっこ内は前期比増減率。

【注】単位は百万円、％。(単)は単体、(予)は2023年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。

吉田 賢治氏（よしだ・けんじ）
愛知大法経学部卒。85年入庫。営業統括部ブロック長、総務部長などを経て、20年6月から成長戦略部長。59歳。

酒井田 知紀氏（さかいだ・ともき）
立教大法経学部卒。90年入庫。各務原支店長、業務推進部長などを経て21年6

川支店長、業務推進部推進役などを経て21年6月から事務統括部長。55歳。

浅野 一成専務理事と二階堂哲常任監事は退任した。

面部長、江崎義規理事リスク統括部長が理事市場国際部長、大野達哉理事融資部長が理事成長戦略部長に就いた。

23年3月期の業績予想は、新型コロナウイルスなどの影響で先行きが見通せないとして公表しなかった。

岐阜信用金庫人事（14日）＝地名のみは支店長、地名の後の役職は支店内の役職＝

開発戦略部副部長（営業戦略部推進役）伊藤智之（いとう・ともゆき）
リスク統括部副部長兼リスク管理課長（リスク統括部長兼リスク管理課長）河瀬光司（かへせ・みつし）
営業戦略部推進役（江南（稲田雅之）梅林（東羽島）服部達（江南（稲

業地）小野貴弘（稲葉地（関）佐橋毅宣（中津川（平田）安田忍（平田（梅林）森本有祐（関（鏡島増田頭司（鏡島（融資部審査役）土田勝弘（事務統括部長代理兼システム開発課長（事務統括部システム開発課長）岡田晶（東羽島（六条次長）飛山晃治（奥田（田神）赤堀政之（田神（高島次長）遠藤知秀（切通次長（林町次長）小野島正幸（各務原次長（稲沢次長）森一敏（六条次長（清洲次長）小川友裕（林町次長（人事部付）下出桂郷（稲沢次長（北一色次長）兼松伸明（北一色次長（美江寺副長）高島一賢（高富次長（開発戦略部副調査役）杉原崇文（清洲次長（植田副長）早川泰宏（美江寺副長（守山副長（牛丸副長（各務原副長（鷺山副長（各務原副長（美和副長（各務原副長）木股崇代（守山副長（清水副長）池戸一也（可児副長（近島副長）海野紳一郎（ムーン支店副調査役（美和副長）梅村純隆（人事部副調査役（切通次長）八木透（営業戦略部副調査役（成長戦略部副調査役）飯田憲司（開発戦略部副調査役（可児副長）村瀬順一（監査部副調査役（奥田）阿達辰義（監査部副調査役（各務原次長）小澤利幸（事務統括部副調査役（ムーン支店次長）天野直人（鷺山副長（開発戦略部代理）堀尚浩（中村公園副長（近島代理）玉置和洋（近島副長（流通センター代理）松岡真菜美（植田副長（経営企画部代理）森智樹（清水副長（本店営業部渉外課長代理）傍島和夫